

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 28 日作成)

小委員会名	資源循環小委員会	主 査 名：中島史郎 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境本委員会	委員長名：岩田衛 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	1. 建築における資源の消費、副産物の利用等に関する現状を把握する。 2. 建築における資源利用の課題と対策について、材料・生産・構造・計画等の各視点から検討・整理し、取りまとめる。 3. 中長期的な建築における資源利用のあるべき姿について検討し、提言として取りまとめる。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし	
	中島史郎(建築研究所) 漆崎昇(大林組) 有馬孝禮(宮崎県木材センター) 菊池雅史(明治大学) 酒井寛二(中央大学) 清家剛(東京大学) 竹尾健一(大成建設) 外崎真理雄(森林総合研究所) 中島祐輔(工学院大学) 野口貴文(東京大学) 広松猛(広島国際大学) 野城智也(東京大学) 山畑博信(東北芸術工科大学) 吉田倬郎(工学院大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名：資源循環モデル WG 目 的：資源循環モデルの作成	
2005 年度予算	85,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/tkankyo/s0/sc04.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建築活動に由来する廃棄物の現状と課題についての検討を行い、幾つかの問題点と対策について検討した。(設置目的 1 関連) 2. 木材を対象として資源利用の課題と対応に関する検討を行った。また、解体材を資源として有効利用するために必要な設計と施工の考え方について検討した。(設置目的 2 関連) 3. 数十年後の資源利用のあり方についてスタディした資料をもとに資源利用のあるべき姿について検討した。(設置目的 3 関連) 4. 上記の検討結果等も含め次年度提言をまとめる予定であり、概ね当初の目標は達成できている。
委員会活動の問題点・課題	1. メール等も活用し、積極的な資料収集・意見交換を行う。 2. WG の活動をより活性化する。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。